

今回の姉妹都市派遣は、私にとって初めての海外経験でした。その為、たくさんの不安と希望が入り混じった気持ちを抱いて出発しました。コロラドに到着すると、初日から多くの人々が私たちを温かく迎え入れて下さいました。ウェルカムパーティー、マトソン宅でのBBQ、レセプションパーティーなどたくさんのパーティーに参加させていただきましたが、すべて室外でのパーティーで、各家庭から食べ物を持ち寄って皆で食べるスタイルでした。日本でパーティーというと、ホテルなどに集まり座って食事を楽しむイメージを持っていたので驚きました。

また日本では目上の方を敬う上下関係の文化がありますが、アメリカでは、目上の方でもフレンドリーに話していることも新鮮でした。これがまず第一のカルチャーショックでした。

他にも、多くの相違がありました。コロラドでは日没が午後八時半と遅い為か、人々が遅くまで外出したり、富士吉田の気候に対し、コロラドは乾燥が強く、同じ気温でも快適で、汗をかくことなく過ごせました。またお風呂場までも靴を脱がない生活習慣だったり、外食先でチップを支払うなど、どれを取っても驚きの連続でした。もちろん異なるばかりではなく、似ているところもありました。それはコロラドの地形です。富士吉田市と同じように緑がとても多く、自然豊かな街並みでした。南に富士山、北に新倉山と町が山に囲まれている富士吉田市に対し、コロラド・スプリングスもパイクスピーク、アスペンなどの山脈に囲まれており、似ている地形でした。また、北富士駐出地を持つ富士吉田市と同様、ピーターソン空軍基地があり、安全に生活できます。ゴミも落ちていないことなく、空気が澄んでいました。

何より似ている点は、富士吉田市同様、人々がとても親切で優しい人柄だということです。その顕著な人々は私のホストファミリーのウィリアムズ一家です。私を本当に家族のように接し、たくさん面倒をみて下さいました。英語が上手ではない私にゆっくり会話し、部屋には私のために作ってくださったルームボードやイルミネーションが飾られ、机には多くのドリンク、お菓子、フルーツなどが用意されており、歓迎してくださっていることを肌で感じました。

私は動物が苦手ですが、ホストファミリーはペットに怯える私に「あなたにストレスを感じさせたくないから、無理しないでね」と声を掛け、出発前に感じていた心配もすることなく過ごせました。食事も、アメリカのサイズはとてもおおきのですが、アメリカ人に対し、少食な私を思っ「食べ切らなくてもいいんだよ」といたわって下さいました。外出先の先々でもそこで出逢う人達に私のことを紹介して下さい、単にホームステイしている子供というだけでなく、私の特技、部活のエピソードを織り交ぜ、私の人となりまでも紹介して下さい、それが大変嬉しかったです。私が好きな色や好きなアメリカのブランドを伝える

と「サプライズプレゼント！」と言って私を喜ばせて下さいました。また、それはファミリーだけでなく、親戚や彼らの友達も同様にたくさんの贈り物を下さいました。おかげさまでとても楽しく充実した時間を過ごせました。

帰国後も、交流は続いており、国境を越えて友情を作ることが出来たことが今回の最大の収穫であり、大変嬉しく、有難く思っています。最終日に彼女は涙を見せ、また彼女の母から別れた後も2日間も泣いていたと聞き、私もまたすぐにでも再会したい思いでいっぱいです。来年度の受け入れの際はおもてなしの形が異なることがわかりました。アメリカでは、エンターテインメントやサプライズというように、とにかく楽しませてあげようという方向性が強いのに対し、日本では、ホスピタリティーといった側面が強いです。もちろん両国の根本には、相手を喜ばせたいという気持ちがしっかりあります。

もう一点成長できたことがあります。出国前、閉鎖的な考え方をしがちだった私が、グローバルな視点で物事を考えることを意識するようになりました。今後は更に視野を広げたいと思います。将来、観光に携わる仕事に就きたいと思っておりますので、今回の文化の違いの実体験を基に、多方向からアプローチを以て、外国の方々をお招きしたいと思っております。

今回の貴重は経験ができましたことに、支援してくださいました市役所の方々を始め、この支援に携わってくださいました全ての方々に感謝申し上げます。